

イオンモール福岡に ギャラリーメモリアオープン（八木研）

店内の空間構成がさらに進化 現代仏壇のお客様を広げる

イオンモール福岡（福岡県糟屋郡）2階に9月16日、八木研のギャラリーメモリア（直営店）がオープンした。イオンモール福岡は福岡市の南郊に位置する大型ショッピングモールで、ギャラリーメモリアはユニクロ、エアウィーヴ、ダイソーなどに挟まれた好立地の場所だ。

八木研は今春3月にイオンモール筑紫野（福岡県筑紫野市）に出店しており、専門店と合わせて大型ショッピングモールへの出店は昨年が四店舗、今年になってからはイオンモール福岡で六店舗目となり、大型SCへの展開を進めお客様と現代仏壇との接点を急速に広げている。

今回のギャラリーメモリアは店舗面積約34坪。売れ筋現代仏壇から最新の現代仏壇まで揃えるが、筑紫野店とは雰囲気ややや異なる店舗構成となっている。「イオンモール筑紫野とは違った店舗空間にすることで、お客様への提案力をさらに高め、現代仏壇の違った表情をご覧頂けると思いますが」と北本店長は語る。

店舗構成で特徴的なのは天井からの吊り棚と、店舗内手前と奥とを仕切る棚。ショッピングモールの店舗は天井が高いために、天井までの空間を上手く活かすことで店内の雰囲気が高めることができる。ギャラリーメモリア福岡では天井からの吊り棚を設け、そこに鉢植えの緑や置物を配し、店内全体の印象を柔らかいものとしている。店舗奥との間仕切りの棚はオープンラック。店舗内手前は小型仏壇と線香・ロソク・数珠などが中心で店舗奥には台付き仏壇を展示するが、店舗手前と奥との空間を仕切る棚をオープンスタイルにすることで、店舗奥までを見渡せる広々とした空間が生まれている。このオープンラックにはステイジ型の現代仏壇の他、位牌や骨壺などの仏具、写真立てが並んでいるが、展示のセンスの良さが際立つスペースとなっている。

壁面展示はこれまで直線的な印象が強かったが、今回のギャラリーメモリアにも神棚展示を行っていることもこのギャラリーメモリアの特長だ。違い棚にもモダンな神棚が展示されており、接客スペースの壁面、オープンラックにも現代的な神棚や神札置きを展示する。お客様からの反応はすこぶる良いということなので、今後の可能性を感じさせるアイテムとなっている。

イオンモール福岡の月間来店客数は延べ百万人を越えるが、八木研のギャラリーメモリアにもお客様に配られた。取材中も数組のお客様が来店され、仏壇や仏具の前にスタッフと言葉を交わし、店舗前を通るお客様の大半が店内に視線を向ける。

来店されるお客様の客層は、イオンモール筑紫野に比べるとイオンモール福岡の方が年配の方の組み合わせが多い、と北本店長は語る。例えば七十代の母親と四十代の娘さんという組み合わせのお客様が現代仏壇の前に立たれるという例が多いという。

博多駅にも車で近く、現代仏壇のマーケットがさらに広がるのが期待される。



ギャラリーメモリア イオンモール福岡店



店内から店外を見る 天井からの吊り棚が空間構成を引き締める 吊り棚上での展示は八木研ならではの楽しい内容



違い棚構成により展示に変化をもたせる 神棚展示によりお客様からのご要望に広く応える



オープンラックの採用で店内奥までの視線を確保 オープンラックの展示内容もお客様から好評だ